

平成21年度第1回北九州市立図書館協議会 会議録

1 会議名

平成21年度第1回北九州市立図書館協議会

2 議題（報告）

- (1) 平成20年度図書館事業結果報告について
- (2) 島郷分館の開館について
- (3) 「文化・交流拠点地区」整備等PFI事業の進捗について

3 開催日時

平成21年8月28日（金）
14時00分～15時00分

4 開催場所

北九州市立中央図書館館内
視聴覚センター第2会議室

5 出席者氏名

(1) 委員（棚次会長以下12名、欠席委員4名、欠員1名）

元北九州市立大学基盤教育センター情報教育部門長	棚次 奎介
北九州市学校図書館協議会会長	吉田 幸雄
福岡県立小倉高等学校長	吉村 俊治
北九州市PTA協議会副会長	安永 扶由美
北九州市AVEの会副会長	長谷川 英代
北九州市社会教育委員	服部 多恵子
BUCH北九州 絵本とおはなしの会	高井 眞紀子
北九州児童文化連盟理事	佐山 幸子
北九州市保育所連盟常任委員	中村 尋子
成人読書会「四季」副会長	高畠 登美子
北九州青年会議所	前田 勇人
日本放送協会北九州放送局	中谷 真由美

(2) 事務局（山口中央図書館長以下11名）

中央図書館長	山口 保夫
--------	-------

中央図書館副館長	大嶋 明
中央図書館庶務課長	井上 好二
中央図書館奉仕課長	紫垣 教幸
中央図書館庶務課庶務係長	河野 吉彦
中央図書館庶務課資料係長	武谷 潤一郎
中央図書館奉仕課奉仕係長	豊田 善正
視聴覚センター館長	上田 誠
中央図書館庶務課庶務係	山本 清貴
教育委員会生涯学習課長	加藤 賢次
教育委員会生涯学習課図書館建設担当係長	徳間 博郎

6 傍聴者

なし

7 会議次第

- (1) 中央図書館長挨拶
- (2) 議事(報告、質疑応答)

8 会議経過(発言内容要旨)

- (1) 平成20年度図書館事業について

(事務局)

資料『北九州市の図書館(年報)』に基づき、
 図書館の開館日数、登録者数、貸出者数、貸出冊数
 ひまわり文庫、団体文庫の貸出者数、貸出冊数
 読書会の登録数、貸出冊数
 その他団体貸出の貸出冊数
 行政区別の登録者数、登録率
 レファレンスの件数
 相互貸借件数(市内、市外)
 図書資料複写サービス件数
 ホームページアクセス件数
 視聴覚資料館内視聴数(視聴覚センター)
 団体貸出用教材利用数(視聴覚センター)
 団体貸出用機材利用数(視聴覚センター)

個人貸出利用状況の推移（経年変化）

図書館行事（読書奨励等行事）

図書館ボランティア事業

視聴覚センター行事

を説明。

（委員）

八幡図書館の読書会の貸出冊数が多いのはなぜか？

（事務局）

八幡図書館は、親子読書会もあり、会員の数も多いことも挙げられます。本の冊数も、会員の数が多ければ、それだけ用意する本の数も多くなります。

（委員）

会員の数は中央図書館の2倍近くにしても本の数が中央図書館より4倍近く多いのは、行事がそれだけ多いのか？

（事務局）

会員の数が多いことが大きな理由です。

（委員）

勝山子どもと母の図書館は、読み聞かせやお話し会の数字が上がっていないが現状はどうなっているのか。また、読み聞かせボランティアの養成講座を実施していると報告が上がっているが、参加人数や参加の状況を聞かせてほしい。

（事務局）

読み聞かせやお話し会の数字が上がっていませんが、活動実績はあります。早急に差替えたいと思います。

勝山では、ほぼ毎週1回、月4回から5回実お話し会を開催しています。図書館ボランティアの養成講座につきましては、図書館に関わるボランティアとしまして大きく二つに分けられまして、図書館の本棚の整理、本の修理、イベントのお手伝い等をしていただく図書館ボランティアの養成講座、読み聞かせお話し会に携わっていただきます、読書ボランティア養成講座がございます。

図書館ボランティア養成講座は年2回、読書ボランティア養成講座につき

ましては、初心者コースとしまして年2回、経験者・上級者向けコースとしまして年1回の計年5回開催しております。

参加人数につきましては、1つの講座の定員は30名となっており、年約150名の方が講座を受けられますが、途中でやめられる方や定員に達しない場合もございます。

次に講師の先生ですが、図書館ボランティア養成講座につきましては、3日間で行われておりまして、1日目は生涯学習や図書館の現状等をご説明するために、専門の先生をお招きしております。残りの2日につきましては、中央図書館職員による実務研修を行っております。

読み聞かせ・ボランティア養成講座につきましても、こちらもそれぞれ専門の講師の先生をお招きしております。子どもにとってお話がどういう意味を持つか、子どもの読書の現状等を説明するために、主に大学の先生をお迎えして講義していただいております。それと併せて、実技指導として専門の方をお招きして講座を行っております。

(委員)

1点要望ですが、わたくし小学校や中学校で朝自習の時間や時間をとっていただいて読み聞かせのボランティアをさせていただいていますが、今非常に読み聞かせのボランティアとしてPTAを中心に地域の方が増えており、勉強する機会がほしいという声が挙がっている。

しかし、3日間を取ることが難しく、現在、中央図書館でしか講座が開かれていないので、近くの図書館で講座を開くような機会を作っていただきたい。

(事務局)

ご意見にございましたような、中央図書館まで来られない方への出張講座の回答につきましては、今すぐお答えするのは差し控えたいと思います。

現状として、制度として大々的に実施するのは難しいものがありますが、平成18年度から、学校の方からご希望いただくと、各図書館から司書を学校へ派遣して、読み聞かせのやり方や子どもと読書の意義などを講義しております。年間10件弱ですが、学校の先生や児童、学校を拠点にしている読書ボランティアの方を対象として行っているものです。もっと大きな規模で行うことにつきましては、今後の課題とさせていただきます。

公共機関と学校の連携について、これから配慮させていただこうと思いません。

(委員)

広域利用の件で、お願いがあります。水巻や遠賀の広域利用が伸びている。八幡西区民にとって駐車場が利用しやすく、借りやすく、便利が良いということが挙げられる。小倉南区民から、行橋、豊前の図書館は貸していただけるが、苅田町は広域利用対象ではないので、貸してもらえない。

これからの方向性を聞かせてほしい。

(事務局)

水巻、遠賀の利用者が多いのは、八幡西区は水巻や遠賀に隣接しており、八幡西区は人口が多いにもかかわらず地区図書館規模の施設ないので、水巻、遠賀の図書館を利用させていただいているということが挙げられます。

苅田町については、小倉南区には地区館規模の施設がないので、小倉南区民が苅田町にどっと押し寄せることが考えられ、今は町民優先にして広域利用には参加していません。

水巻、遠賀の図書館も利用者の半分は北九州市民といわれており、八幡西区黒崎に地区館が出来ましたときには、水巻、遠賀の方にも利用していただきたいと思っております。

今後、小倉南区にも地区館規模の施設が出来ることがあれば、苅田町も広域利用に参加していただけるのではないかと考えております。

(2) 島郷分館の開館について

(事務局)

資料『島郷子どもと母の図書館 施設概要及びみんなの本だな』に基づき、

敷地面積

建物延面積

閲覧席数

蔵書数

施設の特徴など

を説明。

(3) 「文化・交流拠点地区」整備等 P F I 事業の進捗について

(事務局)

資料『「文化・交流拠点地区」整備等 P F I 事業 入札広告(要旨)につい

て』に基づき、
事業内容について
事業者の募集及び選定について
を説明。

(委員)

子供達が図書館に行きやすくなってきているが、児童書コーナーにレファレンス等の設置、調べもの学習における資料の対応していただきたい。また、グループ学習室は子供たちも使えるのかどうか、どのような形で使っていくのか。また、サイン計画についても教えてほしい。

(事務局)

調べ学習について、未来作りゾーンのあたりに、児童書コーナー絵本紙芝居コーナーなど、世代に応じてコーナーを分ける方向にしています。このなかで、調べもの学習ができる資料の配架はもちろんのこと、その他、インターネットが使える端末の設置、有料データベースなどを設置する予定です。未来作りゾーンでは子供向けのレファレンスカウンターを設置する予定で、そこでレファレンスを受けられるようになります。

グループ学習室につきましては、まだ利用方法等検討中ですが、ルールが守れる範囲で子供も使えるようにしたいと思っております。

サインについては、詳細な設計が始まってから打ち合わせていく予定です。具体的なものは決まっていますが、子供、高齢者、障害者、外国人の方にも、大きなデザインで見やすく分かりやすいデザインにしたいと考えています。